

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 1 月 8 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」長久手校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パーティションや個室を用意することで、個別のスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			関係法令に則った職員配置にて運営している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	校舎が二階建てになっているため、バリアフリー化が難しい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			対応が必要な事項があれば職員全員で話し合い、早急に対応することを心掛けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			R3.3 月に開校したため、今回が初回の自己評価表作成となる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	R3.3 月に開校したため、今回が初回の自己評価表作成となる。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	R3.3 月に開校したため、今回が初回の自己評価表作成となる。また、今回は保護者・職員の二者評価を行なっている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月 1 回以上の校舎内研修や地区毎の新入職員研修、法人全体研修を実施している。また、療育にかかわる情報の共有を適宜行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			共有していただいた発達検査の結果や日常で利用者様が困り感を抱えていることを踏まえて、無理のない課題設定を心掛けている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			NC プログラム、SDQ を使用し、6 カ月毎にアセスメントを行なっている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別支援会議を実施し、職員全員で利用者様の課題について話し合い、立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者様の成長に合わせてプログラムを変更している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用時の利用者様の状況に応じて無理のない課題設定を心掛けている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者様のニーズに合わせて支援計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日のミーティングにて打ち合わせをし、引継ぎ事項や支援内容について確認している。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日のミーティングにて振り返り、引継ぎ事項の確認をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援終了後は必ず支援記録を記入し、支援の改善につなげている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6カ月毎にモニタリングを実施し、計画の見直しをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			日常生活の充実のための活動や余暇の提供等、複数の視点から計画を作成し、支援を行なっている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当指導員が作成した事業所所見を持参し、児発管・担当指導員が出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			○	送迎を行っていない。 保護者様、利用者様より行事予定等を伺っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援員を通して情報共有を行ったり、必要に応じてサービス担当者会議にて相互理解の場を設けたりしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当者なし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	今年度児童発達支援センターが開設されたので、連携を図っていきいたいと考えている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	利用者様のニーズに合わせて必要に応じて計画、実施する。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	感染症拡大防止のため開催がなかった。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援終了後フィードバックを行ない、現在の状況について話し合う機会を設けている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者様の相談に乗ったり 手立てを伝えたりする機会を設けている。家庭支援プログラムとしてより具体的に支援することができるよう計画する。
保護者	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に保護者様と書類の確認をするとともに、不明な点があれば都度説明している。

への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			利用の際にお話を伺い、直近の困り感を一早く支援に取り入れることが出来るよう努めている。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後、要望や必要性に合わせて形態や内容について検討する。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合は、迅速且つ真摯な対応に努めている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			掲示板、ブログ、LINE 配信にてご案内している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報にかかわる書類や PC は鍵付きキャビネットにて収納・管理している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			非言語コミュニケーションを主とする利用者様にはコミュニケーションツール（PECS 等）
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後、要望や必要性に合わせて形態や内容について検討する。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを作成し、職員に周知している。今後保護者様が随時閲覧できるよう待合スペースに設置する。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に一度、地震や火災、台風被害等を想定した防災訓練を実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			月に一度、虐待に関する資料の読み合わせ等の研修を実施している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束マニュアルにて、やむを得ない場合の対応を明示している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	行事等、校舎内でアレルゲンを接触する可能性のある場合は、事前に保護者様へ確認を取り、事故が起こることのないよう注意して対応する。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が発生した際、報告書を作成して職員間で報告し合い情報を共有し、対策や見直しを行なうことで再発防止に努めている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 1月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」長久手校

保護者等数（児童数）： 39 回収数： 21 割合： 54 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	3	0	1階の待合スペースを確保するため、配置替えを行った。一か月後職員間で話し合い、改善が必要であれば対応する。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1	0	（ご意見）専門的な目で子どもの様子を見て下さり、安心しています。 →関係法令に則った職員配置にて運営している。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	8	1	（ご意見）中2階のトイレ等、構造上仕方ないかと思う。 →校舎が2階建てになっているため、バリアフリー化が難しい。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	21	0	0	（ご意見）親が気付かない部分に気付いてアドバイスして頂けるので有難いです。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	19	2	0	今後 ICT 機器を使用する等、ニーズに合わせて活動プログラムを工夫する。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	11	8	（ご意見）活動があるとは思いますが、参加したことがないので分かりません。 （ご意見）なくて良い。 →今後必要性に応じて計画、実施する。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	0	0	（ご意見）利用後には毎回フィードバックして丁寧に様子を聞くことが出来てとても満足しています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	0	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	12	7	（ご意見）参加した事がないので不明です。 （ご意見）なくて良い。 →今後必要性に応じて計画、実施する。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	6	0	（ご意見）苦情を伝える状況になってないので不明です。 →できるだけ多くのご意見をいただくことができるよう話しやすい環境づくりを心掛ける。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	1	0	できるだけ多くのご意見をいただくことができるよう話しやすい環境づくりを心掛ける。

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	2	1	掲示板、ブログ、LINE 配信にてご案内している。行事等の取り組みにより興味を持っていただけるような声掛けを心掛ける。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	20	0	1	(ご意見) 他の方のお話しが聞こえる等の問題があると思います。 →待合スペースが狭いため、保護者様のご相談内容に応じて部屋を移動する等対応する。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	5	1	保護者様が随時閲覧できるよう、各マニュアルを待合スペースに設置する。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	15	0	利用者様に訓練内容を周知することができるよう広報に力を入れる。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	21	0	0	(ご意見) 毎回楽しそうに通所している。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	21	0	0	

放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。